

SWSP

札幌ワイルドサーモンプロジェクト

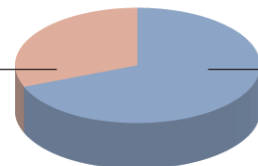
《プロジェクトの目的》

札幌市民によるカムバックサーモン運動によって、豊平川に多くのサケが遡上するようになってから30年以上がたち、豊平川では、サケの自然産卵が繰り返されています。近年の調査で、自然産卵に由来する野生サケ(ワイルドサーモン)が、遡上するサケの約7割いることがわかりました(グラフ)。また、豊平川生まれの野生サケと千歳川から移植された放流魚では、川に戻ってくる時期や年齢に違いが出ていたことも分かってきました。札幌市の「生物多様性さっぽろビジョン」においては、「自然産卵によってサケの回帰が維持される事が理想」と謳われています。

そこで、札幌市豊平川さけ科学館スタッフや水産総合研究センターの研究者、市民の有志がプロジェクトを立ち上げ、今後は豊平川生まれの野生サケを優先的に保全していくことを目的とし、豊平川に遡上してくるサケが大きく減らない範囲で、放流数をコントロールする順応的管理の導入を目指す取り組みを始めました。



放流魚
31%



野生魚
69%

グラフ 豊平川に遡上したサケの内訳



札幌ワイルドサーモンプロジェクト

呼びかけ人／有賀 望、有賀 誠、森田健太郎、平田剛士

問い合わせ先／札幌市豊平川さけ科学館 〒005-0017 札幌市南区真駒内公園2-1

Tel : 011-582-7555 Fax : 011-582-1998 E-mail : sake@sapporo-park.or.jp



札幌ワイルドサーモンプロジェクト

《放流魚の順応的管理とは?》

放流魚の順応的管理とは、遡上数の目標値を定め、産卵床調査によるモニタリングによって放流数を管理する方法です。つまり、遡上数が目標値を上回れば放流数を減らし、遡上が目標値より少なければ放流数を元に戻します。今後は豊平川生まれの野生サケの保全を優先し、豊平川に遡上してくるサケが大きく減らない範囲で、放流数をコントロールする順応的管理の導入を目指しています。

《野生サケとは?》

自然産卵によって生まれたサケのことを指します。野生サケの親は、野生魚である可能性も放流魚である可能性もあります。一般的に魚の放流は、遺伝的な多様性を喪失させ、病気を伝播したり、ふ化場に適した個体を生き残らせてしまうため、生物多様性保全の観点からは、野生魚を大切にすることが重要とされています。野生サケは、その河川環境に適した個体が生き残るため、豊平川で自然産卵が繰り返される事により、豊平川オリジナルの個体群が育っていきます。

《プロジェクトの内容》

1) 豊平川の野生サケ保全の普及活動

さけ科学館の展示やイベント、講演会などにおいて、豊平川の野生サケの現状と野生魚の重要性を普及するとともに、野生サケ個体群の存続性を高めるために、自然産卵環境の改善と、ふ化した稚魚の生息環境の整備を働きかけます。

2) 放流魚の順応的管理案の作成

遡上数の目標値と放流数のコントロール方法を検討します。

3) 豊平川サケ順応的管理システムの提案

豊平川への稚魚放流数を定めている札幌市に対し、生物多様性保全の観点から順応的管理システムの導入を提案します。

豊平川のカムバックサーモン運動

- ～1950年ごろ 河川改修や水質汚染により豊平川のサケ絶滅
- 1978年 …… 「さっぽろサケの会」発足
- 1979年 …… サケ稚魚を計約100万尾放流
- 1981年 …… 豊平川にサケが初めて回帰
- 1982年 …… 市立東白石小が鈴木善幸首相に魚道設置要望
- 1983年 …… 豊平川に帰ってきたサケの稚魚を初放流
- 1984年 …… 豊平川さけ科学館オープン
- 1985年 …… カナダに初のサケ学習団派遣
「さっぽろサケの会」解散
「北海道サケ友の会」設立
- 2005年 …… 「北海道サケ友の会」解散
「北海道サーモン協会」発足
- 2014年 …… 「札幌ワイルドサーモンプロジェクト」発足

参考文献 北海道サケ友の会20年のあゆみ『碧』

豊平川は、サケの放流について、市民の意見が反映される数少ない河川です。

札幌ワイルドサーモンプロジェクトは、市民の関心が高まることにより実現できると考えています。

豊平川の野生サケを大切にする取り組みに賛同していただける方は、ぜひ、このプロジェクトを応援してください。



札幌ワイルドサーモンプロジェクト



札幌市豊平川さけ科学館

〒005-0017

札幌市南区真駒内公園2-1

Tel : 011-582-7555

Fax : 011-582-1998

E-mail : sake@sapporo-park.or.jp